

1/4ですむさとう

オリジナル計量スプーン付!

三井製糖株式会社



いい仲間、いい仕事、三栄会

SAN-EIKAI San-ei news

編集兼発行人：三栄会広報委員会 事務局：東京都千代田区大手町1-2-1 三井物産株式会社事業管理部企画室内
TEL (03)3285-7816 三栄会ホームページ URL: http://www.san-eikai.or.jp
Eメールアドレス: SaneikaiTKAOI@mitsui.com 制作：株式会社三幸企画

いい仲間
いい仕事
三栄会

平成19年度三栄会重点テーマ




ソプラノ・オペラ歌手グループのフェスティナレンテが舞台からおりてパフォーマンスを行うと会場が大盛り上がり

「お互いを知ろう」をテーマに楽しい企画満載で大盛況

第15回 **サンエイ・サマー・フェスタ2007**開催

三栄会で最大のイベントである「サンエイ・サマー・フェスタ2007」が八月二日(水)、三井物産本館地下一階催事場ホールで開催されました。

一昨年までは「納涼フェスティバル」と呼

ばれていたこのイベントも、昨年から「サンエイ・サマー・フェスタ」と呼び名を変え今年には通算で第一五回を迎えました。昨年のテーマは「さまざまな出会い」でしたが、今年のテーマは「お互いを知ろう」です。出会い、

そしてお互いをよく知ってというところでしょう。会員企業数一四〇社を超えるこの巨大なネットワークをビジネスに活用しない手はありません。そのためには「出会って」、そして「お互いをよく知って」ビジネスのチャネルとして活用していく、これこそ三栄会会員企業の大きなメリットではないでしょうか。

今年のサマー・フェスタの参加者は四三社二六八名で、昨年の三七社二〇八名に比べ、参加企業数で一六%アップ、参加者数で二九%と大幅なアップとなりました。

また今年には参加者全員に参加記念として三栄会のロゴ入りのエコバッグを配布。現在、日本ではレジ袋が年間一五三億枚も消費され、その量は石油三〇万キロリットルに相当するそうです。こうした現状を踏まえて、地球温暖化防止に貢献するために、レジ袋に代わってこの三栄会エコバッグを活用していただいて、一枚でもレジ袋を減らそうというこのエコバッグの活用をお願いします。どこに行くにもこのエコバッグをかばんに入れて持ち歩く。そして買い物したらレジ袋をもらわずに、このエコバッグに入れる。そして街中では、エコバッグの隅のSAN-EIKAIマークがきらりと光ります。



特製エコバッグは5色用意され、参加者全員に受付にて配布

スタの開始です。昨年はナレーションが入っていなかったため、当日は司会によるナレーションで行いましたが、今年のビデオは本格的なナレーションが入った、広報委員と事務局が何回も製作者と検討を重ねて完成させた、まったく新しいビデオです。

当日は非常に多くの方で会場が満員であったため、少しビデオに注意が集まらなかったようですが、映像で分かりやすく三栄会の目的や活動が紹介されていますので、三栄会の紹介のためにぜひ活用いただきたいと考えています(DVD/VTRビデオになっていないので、事務局に申し込めば貸し出ししてもらえます)。

そして、東京三栄会増田会長による開催の挨拶に続いて、乾杯の発声が行われました。今年のテーマ「お互いを知ろう」を実現するため、サマー・フェスタのプログラムにさまざまな工夫を凝らしました。

①参加企業と賞品提供企業(三〇社)計一、六七六社の会社紹介パネルの会場内展示
②簡単なクイズ形式の「三栄会クイズ」の実施。三栄会に関するさまざまな質問、例えば、「三栄会の会員全員を対象とした特別行事はなんですか?」という質問に対して、回答の「サマー・フェスタ」を選択するなどして全問回答できると、景品引換所で豪華賞品が当たる。

③企業名ビンゴの実施。会場で名刺交換をしていただき、集めた名刺の企業名をマスに入れ、選択された企業名で縦、横、斜めのどれかが揃うと「ビンゴ」。これだけでリヤドロ人形(三万円)やSENCEOコーヒーマーカー(二万五千円)、デイズニールランド・ペア・チケット(二万円)など賞品提供企業からの豪華賞品が当たる。プログラムの最後は恒例となったサプライズゲストによるアトラクション。昨年のサプライズゲストはゴスペルの「エノーマス・ポ

- サマーフェスタ参加企業
- アラマークユニフォームサービスジャパン(株)
 - (株)エニー
 - エムサービス(株)
 - 川上塗料(株)
 - キッズステーション(株)
 - 国際油化(株)
 - (株)ジェイ エスキューブ
 - (株)新津田
 - 新日本空調(株)
 - 第一タンカー(株)
 - (株)テレパーク
 - 東京国際エアカーゴターミナル(株)
 - 東神倉庫(株)
 - 東邦物産(株)
 - トライネット・ロジスティクス(株)
 - 日商リネンサプライ(株)
 - 日本トレーディング(株)
 - 日本ユニシス(株)
 - 物産機械情報サービス(株)
 - 物産ケミカル(株)
 - 物産サービス(株)
 - 物産フードサービス(株)
 - 物産不動産(株)
 - 三井情報(株)
 - 三井物産アグロビジネス(株)
 - (株)三井物産インシュアランスアンドコンサルティング
 - 三井物産エアロスペース(株)
 - 三井物産金属原料(株)
 - 三井物産鋼材販売(株)
 - 三井物産ゼネラルサービス(株)
 - 三井物産戦略研究所(株)
 - 三井物産非鉄販売(株)
 - 三井物産ヒューマンリソース(株)
 - 三井物産フィナンシャルサービス(株)
 - 三井物産フォレスト(株)
 - 三井物産プラスチック(株)
 - 三井物産プラントシステム(株)
 - 三井物産マーケティング(株)
 - 三井リース事業(株)
 - (株)メフォス
 - (株)もしもしホットライン
 - ライセンスオンライン(株)
 - リヤドロジャパン(株)

サンエイ・サマー・フェスタ2007



和気あいあいとした会場の雰囲気



参加企業の会社紹介パネルと会社案内を展示



ハズレなしのビンゴゲーム



あちらこちらで名刺交換が盛んに行われた



横手共通世話人による中締めで会場は盛況のうちに終了



フェスティナーレンテ(オペラ女性歌手グループ)



挨拶する横手共通世話人

イス・インユー”でしたが、今年は美しいソプラノ・オペラ歌手グループの「フェスティナーレンテ」(ラテン語で「急がば回れ」という意味)をお招きしてオペラ「権姫」より乾杯の歌、オペレッタ「こうもり」よりシャンパンの歌、「マイフェアレディ」より踊り明かそうなど、親しみのある曲が美しい声で歌われました。今年も心にしみる良い曲を皆さま

んどもに楽しむことができました。最後に、横手共通世話人から中締めの挨拶が行われ、約二時間にわたるサマー・フェスタは無事終了となりました。「出会い」から「お互いを知る」ことを目指した今年のサマー・フェスタ。参加された皆さん、三栄会の会員企業名を何社覚えていただけましたか? また、会場で仲良くなったお友達は何人でき

ましたか? 最後に、多くの賞品を提供していただいた企業の皆さん、このサマー・フェスタの企画・準備・実行・撤収を行っていただいたエニの皆さん、事務局の皆さん、広報委員の皆さん、本当にありがとうございました。また来年もサマー・フェスタでお会いしましょう。(広報委員長/日本ユニシス 前田)

三栄会会員の 広報活動アンケート調査回答

近年の企業グループ連結経営の流れに沿って、今後は広報面でも企業グループ広報を目指して、広報活動を広げていこうとする動きがあります。そこでまず、日本国内のMBKグループ広報に関しては三栄会会員各社が、①どの部署において、②いかなる広報活動を行っているのか、などを調べてみることにしました。

調査方法は、七月初めにサマーフェスタへの参加見込を事前アンケートした際に、会員各社の広報担当部署についても同時に問い合わせる方式を取りました。広報委員会としては、本アンケート回答を基に、①会員各社の活動をタイムリーに把握する、②サンエイニュース・三栄会HPなどの機関紙に記事掲載する、③三栄会広報取材源を広げる、などに役立てていきたいと思っています。

ちなみに、アンケート調査回答結果(会員一四二社のうち六六社より回答あり)は、次のとおりとなりました。特に、広報担当しているのは総務部が多く、社内誌の発行は一四社で業界関連が多く、広報活動としては主に会社案内とHPに頼っていることが分かりました。会員のうちでは、一三社より広報委員会や会員各社との意見交換を希望する声が寄せられました。

(広報委員会)

●広報活動アンケート結果 (142社中66社からの回答)

マスコミ対応	12社
会社案内	37社
PR/VTR	5社
企業広告	10社
カレンダー	25社
手帳	13社
HP/イントラ	52社

●社内報制作会社 (順不同)

会社名	誌名
1 物産ロジスティクスソリューションズ	BLSタイムス
2 物産サービス	BSKネットワーク
3 三井物産プラントシステム	クローバー
4 王子コーンスターチ	王子エース
5 サンエイ糖化	はばたき
6 日本配合飼料	飼料の研究
7 エームサービス	エームライフ
8 極東石油工業	Refine
9 大東化学	だいたう
10 商船三井ロジスティクス	VOICE (休)
11 メフォス	はげみ
12 新日本空調	新日空かわら版
13 物産不動産	BFK NEWS
14 三井製糖	Spoon Life

東京三栄会機械部会

平成一九年度東京三栄会機械部会は、五月二九日に会員一四社二八名

(懇親会三六名の参加を得て、三井物産本店地下中ホールで開催されま

した。定例部会では、四月一日付で三井



物産プロジェクト(株)、三井物産プラント(株)、三井物産パワーステム(株)、三井物産交通システム(株)の4社統合により、世話人を継承された三井物産プラントシステム(株)榎木社長の議事進行および説明による機械部会会員の異動状況、代表者交代、次期世話人についての報告に続き、東京三栄会増田会長より挨拶がありました。

続いて審議事項として、「機械部会世話人に関する内規」の改訂について審議が行われ、全員一致で承認・制定されました。その後、講演会に移り三井物産(株)情報戦略企画部大橋部長、坂東室長による「連結グローバルでの内部統制の向上にむけて『米SOX法四〇四条とMICA Nプロセス準拠』」と題する講演が行われ、MICA Nプロセス準拠の基本要件、システム・プロセス標準化の推進などについて、具体的な実

例を挙げての説明がありました。また機械部会各社の対応状況として、三井物産プラントシステムの久住専務と三井物産エアロスペース(株)田中取締役から説明を頂き、三井物産グループ関係会社各社にとり重要な項目であることから出席者の関心も深く有意義な講演会でありました。

定例部会後の懇親会では、三井物産から副島副社長、陶浪船舶・航空本部長、古川プロジェクト本部長、中山プロジェクト業務部長、浦島自動車/船舶・航空業務部長以下幹部の方々、また東京三栄会からは豊島副会長、野村副会長、横手共通世話人ほかの方々も参加され、和やかな雰囲気の中で近況報告や意見・情報交換が行われました。(広報委員/物産機械情報サービス 天野)

三栄会HPトップページに 研修専用欄登場

三栄会はこの度、研修委員会からの要望を受けて、三栄会ホームページ(HP)のトップページ左側上段に研修専用欄を設けて、八月二七日より運用を開始しました。これにより、三栄会会員は現在募集中の三栄会研修講座案内やプログラム内容、講師紹介を三栄会HPにて検索することができま

す。また、研修委員による過去の講座の立会報告書も参考資料として検索できるようになったことで、会員窓口から応募する際に講座内容をより良く検討できるようになりました。

実際の申込に関しても、HPの申



込欄に受講希望者を入力して、その

まま三栄会事務局へ直接申し込みできるようにになりました。申込入力完了すると、会員窓口宛に電子メールで「お申し込みありがとうございます」との自動返信が届きます。

HP案内(従来の電子メール案内も併用)となった一二月一から二日開催の管理職研修(人のマネジメント)は、初めての試みにもかかわらず、会員皆様よりHPによる直接申込をいただき、順調な滑り出しをみせています。

三栄会は引き続きHPを活用した、会員皆様への幅広いご案内方法を考案していくよう努めてまいります。(広報委員会)

【第一回三栄会講演会開催】三栄会の新企画、全体・横断的テーマの講演会
野中郁次郎講師による組織のイノベーション

「思いを言葉に、言葉を形に」

三栄会は本年度の活動計画に、三栄会全体にわたる横断的なテーマの講演会開催を掲げています。堅い話から柔らかい話まで、経営・文化スポーツなどの分野は問わず、会員皆さんが関心を持って聴講できる講演を春・秋の年二回開催すべく準備を進めてきました。第一回は、MBKとも関係が深く、実践的経営理論の専門家である、一橋大学・大学院の野中郁次郎名誉教授を講師にお招きしました。

イノベーションと

フロンテック・リーダー

五月三日(木)、MBK本社地下多目的ホールにて「組織のイノベーション／賢く実践する作法」と題して、聴講者七八名を集めた第一回三栄会講演会が開催されました。野中教授は「暗黙知、形式知」の提唱者として有名ですが、先生とMBKとの関係は二〇〇一〜二〇〇五年に三井物産アドバイザリーボードのメンバーに参加いただき、本年六月には三井物産の社外取締役に就任されました。

野中先生の軽妙洒落なお話には定評がありますが、今回もとても楽しくお話を聴きすることができました。以下にそのお話のハイライトをまとめました。

○イノベーションとは何か
イノベーションとは、新しい知を生み出す創造的なプロセスであり、人間の主体的な生き方、価値観、未来創造の戦略である。またイノベーションは、サイエンスでありアートである。暗黙知であるアートは、形式知であるサイエンスとの間で対話的思考の相互作用で実現される。

○知識創造企業のリーダーシップとは
ビジョン、対話、実践、場、知識資産、環境をトータルに関係づけて、知の総合力を発揮させるダイナミック・プロセスである。その根幹にあるのは、知識の知恵化を支援するフロンテック(Fronte)である。

※フロンテックとは、倫理の思慮分別をもって、その都度の文脈で最適な判断・行為ができる実践的知恵(高

質の暗黙知)。

質の暗黙知。

○フロンテック・リーダー
物事の善悪の判断基準の軸を持って実践的知恵を駆使するリーダーである。フロンテックを備えたリーダーは、自らの哲学、歴史観、審美眼を総合した共通善を志向しつつ、ダイナミックな状況の本質を察知して、その都度の文脈に最善の判断・行動を起こす。断片的な情報や知識というよりは、状況思考・行動ができる知恵を備えている。そのようなフロンテック・リーダーは、イノベーションを可能とするイノベーション・リーダーといえることができるだろう。

話が少し難しくなりましたので、具体的な事例で分りやすく説明いただきました。

具体的な事例で、フロンテック・リーダーの素顔を知る
本田宗一郎の善悪の判断基準を持つ能力「企業発展の原動力は思想」

「技術よりもまず大事にしなければならぬのは、人間の思想だと思ふ。金とか技術とかいうものは、あくまでも人間に奉仕する一つの手段なのである。人間を根拠としない技術は何も意味を成さない」
「企業発展の原動力は思想である。従って、研究所といえども、技術よりそこで働く者の思想こそ優先すべきだ。真の技術は、哲学の結晶だと思っている」



野中郁次郎名誉教授

「技術よりもまず大事にしなければならぬのは、人間の思想だと思ふ。金とか技術とかいうものは、あくまでも人間に奉仕する一つの手段なのである。人間を根拠としない技術は何も意味を成さない」
「企業発展の原動力は思想である。従って、研究所といえども、技術よりそこで働く者の思想こそ優先すべきだ。真の技術は、哲学の結晶だと思っている」

(本田宗一郎「俺の考え」新潮社1963年)

町の技術者として知られている本田宗一郎氏がこのような考えを述べられていたことに驚きを感じます。まるで哲学者のような考えをお持ちだったのですね。

本田宗一郎の他者と文脈／コンテンツを共有して場を醸成する能力「文脈の共有を醸成する即興力」
「ジョークというのは実に難しい。その時の雰囲気とチャンスをつままなければならぬ。ふっとそこだけ存在するもので、ほかには存在しない。そのタイミングを外したらジョークは成り立たない。ジョークというのはアイデアであり、人情の機微を察することである」

(本田宗一郎「俺の考え」新潮社1963年)
ここで本田氏がもつとも言いたかった点は、「タイムリー・タイム」ではなかったのか。ものには全て最適な時間がある。このタイミングを失うと、ジョークの意味がなくなってしまう。すよ、ということを言いたかったのではないだろうか。二輪車のレースでトラブル発生、そのトラブル発生の時点こそ、問題分析し解決策を検討する最適なタイミングであるということ

「俺の考え」新潮社1963年
ここで本田氏がもつとも言いたかった点は、「タイムリー・タイム」ではなかったのか。ものには全て最適な時間がある。このタイミングを失うと、ジョークの意味がなくなってしまう。すよ、ということを言いたかったのではないだろうか。二輪車のレースでトラブル発生、そのトラブル発生の時点こそ、問題分析し解決策を検討する最適なタイミングであるということ



野中名誉教授

です。本田氏は、このタイムリー・タイムで社員と討議し、難問を解決してきたのです。

私たちがフロンテック・リーダーになるために
最後に、私たちがフロンテック・リーダーになるためにどのような習慣を身につけたらよいのかを、以下のようにまとめていただきました。

1. 教養(Humanity)を身につける
哲学、歴史、文学、芸術、数学、物語などはとても大切である。哲学は「真善美」を身につけるのに役立つ。歴史は事実を通してシナリオの理解力を高める。特に「起承転結」の「転」が大切である。文学や芸術は鋭い感性を磨くために必要である。

2. 至高経験(Peak Experience)
至高経験は可能性への限界(死)への投企(ハイデッガー)、純粹経験(西田幾太郎)、フロー体験(チクセント・ミハイリ)、修羅場、武者修行、戦場、恋愛、遊びなどであるが、ここで述べられている最高の経験は少し難しい気がするが、しかし至高経験の持つ価値は非常に大きいことを再認識すべきであろう。

3. 実践と伝統・職人、高い卓越性の評価基準
職人の純粋性や高い卓越性の評価

基準は、優れた職人を鍛えあげてきた。イノベーションにも同じようなところがあるのだろうか。

イノベーターはミドル、すなわち中間層が絶えずコンセプトを作りながら組織の中で上下にPRして(ミドルアップダウン)、組織全体にその思いを実現させていきます。最近



野中名誉教授の話に出席した経営幹部から一般社員までが熱心に耳を傾けていた

の成功例は、帯広での「北の屋台」やサントリーの「伊右衛門茶」、サッカーの「アルビレックス新潟」など、枚挙にいとまなしです。会員の皆さんがこの講演を基にさまざまな組織の中でイノベーションを実践されることを三栄会では応援します。(広報委員長/日本ユニシス 前田)

の成功例は、帯広での「北の屋台」やサントリーの「伊右衛門茶」、サッカーの「アルビレックス新潟」など、枚挙にいとまなしです。会員の皆さんがこの講演を基にさまざまな組織の中でイノベーションを実践されることを三栄会では応援します。(広報委員長/日本ユニシス 前田)

鉄鋼分科会 第一回海外研修、タイ訪問

品質と生産性向上などに努めている姿に 強い刺激と感銘を受ける

今回の海外研修は鉄鋼製品本部関係会社九社から二名が参加し、七月三日から七日までの日程でバンコックを訪問しました。現地では鉄鋼関連出資先であるサイアム・ユニ

テッド・スチール(SUS)、サイアム・ヤマト・スチール(SYS)、バンコック・イースターン・コイルセンター(BECC)、バンコック・コイルセンター(BCC)、タイ・ティ



ンプレート(TTP)、タイ・アイアンワークス(TIW)の六社を訪問。実動三日間というスケジュールでしたが、タイ国三井物産鉄鋼部ならびに訪問先の方々のご協力のお陰で充実した研修成果を得て、全員無事に帰国することができました。

バンコック新国際空港に降り立つて、まず驚いたのはダイナミックな曲線を描いて鋼製パイプをふんだんに使用した巨大な宇宙船を思わせるようなターミナルです。さすがタイ国の威信をかけて建設されたといわれるだけのことはあって圧倒される規模で、タイの古風な寺院や民族衣装などのイメージからはとても想像できないほどのものでした。新空港建設用の鋼材の大半を三井物産グループが調達したということで、誇らしく意気高揚する思いでした。

タイでは、アジア通貨危機を乗り越えて景気にも弾みがついてきた矢先に昨年九月にクーデターが発生し、それ以降、民間投資の減少などさまざまな分野での経済活動が停滞しているとのこと、インフラ整備も同様、道路は民衆の間で急速に普及している自動車で溢れ、交通渋滞がますます深刻化していることを実感しました。また、市街には信号機はあるものの自動制御ではなく、警官が街角に立って手動で信号を操作しているというアンバランスは、われわれの理解をはるかに超えるものでした。

お知らせ
(サンエイニュース・70号以降)

■ 幹事異動
・ 監査役特別部会/正世話人
 (前任) 藤村裕 物産不動産株監査役
 (新任) 松岡靖 大東化学株監査役
・ 監査役特別部会/副世話人
 (前任) 松岡靖 大東化学株監査役
 (新任) 保坂庄司 三井石油開発株監査役
 (新任) 松平憲明 三井物産プラスチック株監査役

■ 東京三栄会入会
・ ライセンスオンライン(株)
(生活産業部会)

■ 東京三栄会退会
・ 白石灰化工(株) (化学品部会)
・ 三井物産フューチャーズ(株)
(物流・金融・コーポレート部会)
・ (株)ウィスタ 生活産業部会
・ (株)宇徳 (物流・金融・コーポレート部会)
・ 生和糖業(株) (生活産業部会)
・ エムオーツーリスト
(物流・金融・コーポレート部会)
東京三栄会加入会社数
142社(2007年10月1日現在)

ところが多いものの、新しいマーケットの開拓と安定操業を図るため、賢明に取り組んでいる姿には敬服する思いでした。特に、各社とも品質と生産性向上のための社員教育を重要課題として力を注いでおられました。5S運動をはじめ「カイゼン」など用語をそのまま使用し、そのコンセプトを現地の従業員に周知徹底させるべく教育しているというのは興味深いものでした。また、目標と達成度を分かりやすく図表にするなどして、従業員のモチベーションの高揚に努めている様子を身近に見学することができました。さらに各社とも女性の活用を盛んに行っており、なかには仕事ぶりが丁寧で安定しているということも検査員のほとんどが女性という会社もありました。

タイの労働者賃金は日本の一〇分の程度といわれ、かつカントリールリスクが低いこともあって日本を含め海外企業の進出はまだまだ盛んであります。最後に、今回の研修団受け入れの準備とすべての工程に同行案内していただいたタイ国三井物産鉄鋼部、そして温かく迎え入れていただいた訪問先の皆様へ改めて厚くお礼申し上げます。

(鉄鋼分科会/新津田 小川)

文化交流委員会報告

文化交流委員会から最近の文化教室活動についてご報告します。

【写真教室】

平成一九年五月号にて装いを新たに再スタートしたことをお伝えしました。その後、「黄昏から夜の日比谷・銀座を撮ろう」をテーマに篠先生の指導による撮影実習を八月に行いました。当日参加の13名は夜間でも手ブレのない構え方、構図の決め方など、篠先生の模範撮影を交えての実践講座を受けました。週末、繁華街の雑踏の中でグループからはぐれてしまうほど夢中になり、受講者の皆さんが眼をキラキラ輝かせている姿にはビックリさせられました。

普段なにげなく歩いている日比谷・銀座の街の様子を全く違う目線で見ることができて、参加した皆さんには新しい発見として残ると思います。当日の撮影作品は2L版にプリントして九月の写真教室で先生の講評とともにみんなで鑑賞します。



【絵画教室】

今後の予定としては一〇月「秋の風物(静物と人物)」、十一月「美味しい料理の撮りかた」、十二月「クリスマス・イルミネーションを撮る」などを計画。わあ、綺麗ね。どうやって撮ったの?とご家族やお友達から自慢できるような写真を目指します。

【陶芸教室】

女子美大の吉武教授を講師に水彩画を中心に勉強しています。七月は受講者自身が好きな絵画(コピー)を持参して、それを模写しながら先生から講評をいただきました。各自の自発性を尊重しながらも、「こうすればもっと意図が明確になる。」など適切な指導で思わず筆の動きもスムーズになります。九月には実際にモデルを仕立ててのデッサンを勉強します。今後については東京の下町情緒豊かな名所や秋の紅葉の名所などに出かけての野外絵画教室などを企画中です。

【料理教室】

二回の陶芸教室を開催しました。マグカップや小鉢、小皿など実用的な逸品が数多く生まれています。新しく銀座1丁目(有楽町駅そば)にある陶芸教室(陶芸舎)と新しい企画を打ち合わせていますので近日中にご案内ができると思います。

【料理教室】

NHK「今日の料理」などでお馴染みの河野先生を中心に二回開催。毎回定員オーバーで抽選と言う盛況です。今後の活動にご期待ください。

(文化交流委員長/豊島)

第20回東京三栄会野球大会・テニス大会開催



好投と打者猛攻で
連合アラ・プラが覇者に

今年も三栄会野球大会が行われ、今回は第二〇回目の記念大会となりました。

今大会は三二チームが参加。一七回大会より三年連続優勝の日本ユニシスが事情により不参加。また、アラマークユニフォームサービスジャパンと三井物産プラスチックは連合(以下「連合アラ・プラ」)を組んでの参加となり、優勝争いは熾烈なものに。

開催グラウンドを二年前ぶりにサンケイスポーツセンター(埼玉県三郷市)とし、五月二三日(日)に開幕した今大会は連日晴天に恵まれ、絶好のグラウンドコンディションの中、順調に試合を消化。昨年は中止に次ぐ中止で、決勝が八月にずれ込むハプニングがありました。今年六月三日(日)に行うことができました。

決勝にコマを進めたのは、連合アラ・プラとエムサービス。連合アラ・プラは、準決勝で三国コカ・コーラボトリングと激戦の末、同点に追いつき、最後は大会規定によりジャンケンでの勝利。エムサービスも二回戦でエムオーツリストを一つ対〇、三回戦ではやまとに八対七逆転サヨナラ勝ち、と両者とも接戦を制しての決勝進出となりました。

さて試合は、エムサービスが連合アラ・プラ先発の田畑投手の立ち上がりの乱調を攻め、二つの死球と

敗手を足掛かりに、四番村田のタイムリーなどで四得点。投げては先発の斎藤投手が完璧な内容で五回途中まで無安打無得点に抑え込みます。ところが五回、斎藤投手が突如コントロールを乱し、四つの四球を選んで連合アラ・プラが無安打で二点を返します。

続く六回、連合アラ・プラが一気に畳み掛け、一アウト二・三塁から玉城内野手がセンター前ヒットでランナー二人が帰って勝ち越し。この回打者一巡二三人の猛攻で八得点。連合アラ・プラの田畑投手は一回以降はエム打線を一安打に抑える好投を見せ、一〇対四で連合アラ・プラが連合チームながら抜群のチームワークで見事優勝を果たしました。

表形式では、第一回大会から審判として協力いただいている東京審判協会に感謝状と記念品を授与するなど、二〇回目を迎えた記念大会は華々しく幕を閉じました。

(広報委員/エムサービス 林)

個人賞

- 最高殊勲選手賞 玉城内野手 (連合アラ・プラ)
- 投手部門賞 田畑投手 (連合アラ・プラ)
- 打撃部門賞 知念内野手 (連合アラ・プラ)
- 守備部門賞 田代外野手 (エムサービス)
- 委員長賞 山口投手 (連合アラ・プラ)

大会詳細HP
<http://www.jjsco.jp/sanekab/>

表形式では、第一回大会から審判として協力いただいている東京審判協会に感謝状と記念品を授与するなど、二〇回目を迎えた記念大会は華々しく幕を閉じました。

(広報委員/エムサービス 林)



【試合結果】

優勝：宇徳運輸Aチーム
準優勝：中央ビルト工業
第3位：物産不動産
第4位：宇徳運輸Bチーム
第5位：新日本空調
第6位：エムサービス
第7位：テレパーク
第7位：極東石油工業

※7月31日付で株式会社宇徳は退会となりました

【試合結果】

優勝：宇徳運輸Aチーム
準優勝：中央ビルト工業
第3位：物産不動産
第4位：宇徳運輸Bチーム
第5位：新日本空調
第6位：エムサービス
第7位：テレパーク
第7位：極東石油工業

※7月31日付で株式会社宇徳は退会となりました

最後に、打ち合わせを含め休日返上で運営にご協力いただいたテニス部会世話人の皆様および協賛品をご提供いただいた関係各社にお礼申し上げますとともに、会場を提供していただいた吉田記念テニス研修センターの皆様にも厚くお礼申し上げます。今年の実績を踏まえ、インドアコートでの実施も検討していきたいと思えます。

(広報委員会)

宇徳運輸チームが二〇チームの頂点に立つ

第二〇回東京三栄会スポーツ交流テニス大会が、吉田記念テニス研修センター(千葉県柏市)において開催されました。五月二〇日(日)の予選では、合計二〇チームによる白熱した熱戦が繰りひろげられ、七月八日(日)には決勝大会を行い、みごと宇徳運輸Aチームが優勝しました。

今年決勝初日に雨が降り順延となった関係で二チームが欠場となったことは残念ではありましたが、決勝一日目は六チームが参加し、梅雨入りしていたものの、滞りなく大会を終了することができました。

また、今回は残念ながら会場などの都合で懇親会を催すことはできませんでしたが、コート上での表形式は盛り上がりました。また、昨年に引き続き優勝した宇徳運輸(現・株式会社宇徳)の方を誘っての祝勝会を開催し、その場を盛り上げてくれました。



最後に、打ち合わせを含め休日返上で運営にご協力いただいたテニス部会世話人の皆様および協賛品をご提供いただいた関係各社にお礼申し上げますとともに、会場を提供していただいた吉田記念テニス研修センターの皆様にも厚くお礼申し上げます。今年の実績を踏まえ、インドアコートでの実施も検討していきたいと思えます。

(広報委員会)

最後に、打ち合わせを含め休日返上で運営にご協力いただいたテニス部会世話人の皆様および協賛品をご提供いただいた関係各社にお礼申し上げますとともに、会場を提供していただいた吉田記念テニス研修センターの皆様にも厚くお礼申し上げます。今年の実績を踏まえ、インドアコートでの実施も検討していきたいと思えます。

(広報委員会)

三井物産田代社有林にて森林環境教育を実施



三井物産フォレスト(株)は、三井物産が七月二二・二三日に実施した、福島県の田代社有林での社員および家族を対象とした森林環境教育において、間伐見学、森林の自然観察、生物多様性の研修、尾瀬国立公園に

編入が決まった田代山頂高層湿原への登山のサポートなどを行いました。参加者一九名は曇り時々小雨という天候のもと、事故もなく登山を含めたプログラムを終え、「このような貴重な自然を保全していることを初めて知った」「生物多様性や人工林の勉強ができ、自然に対する興味が湧いた」「美しい幻想的な高層湿原に感激した」「できるだけ多くの社員に知ってもらいたい」などの感想を寄せました。

当社では、社有林を使った活動を今後も広げていく予定です。

【お問い合わせ】
三井物産フォレスト(株)
電話：〇三三三三三〇七二〇一
FAX：〇三三三三三〇七二〇三
E-mail：info@mitsuiforest.co.jp
<http://www.mitsuiforest.co.jp/>

メイシオンもテレビ放映されている子供たちに人気のキャラクターです。今回発売したお砂糖は、ご家庭でお菓子づくりが楽しめる「粉砂糖」「ブラウンシュガー」の二品。ふんわりした粉砂糖はかたまりにくく、いつでも簡単にお菓子づくりが楽しめます。ブラウンシュガーは沖縄産原料一〇〇%。味わい深くコクのある甘味で、お菓子を風味豊かに仕上げます。お子様も手に取りやすい七〇gパックで、便利なチャック付き。また、発売記念にかわいいレシビシールも付いています。

ぜひお菓子づくりの楽しさを実感してください。

【お問い合わせ】
三井製糖(株)お客様相談窓口
電話：〇二二〇二二〇三二八



東京三栄会会員各社新社長紹介

今年新しく社長になられた方々を紹介します。(掲載は社名順、敬称略)



●(株)ジェイエスキューブ・サービス
代表取締役社長 須川 壮己

ジェイエスキューブグループです。大量事務処理のコストダウン専門家としてBPOに取り組めます。



●第一プロイラー(株)
代表取締役社長 白崎 憲二

鶏肉の生産から販売まで一貫して、美味しさとともに食の安全・安心を提供します。



●東京鋼鐵(株)
代表取締役社長 南 良隆

貴重な鉄鋼スクラップ資源を電気炉により鋼材に再生しております。安全と環境を重視し、社会貢献に努めてまいります。



●(株)物産フードサービス
代表取締役社長 高橋 薫

当社は従来からの食品の販促業務に加え、キングオスコーブランド缶詰ほかの自己名義売買を開始しました。



●三井液化ガス(株)
代表取締役社長 佐藤 雅一

2004年12月1日に三井石油(株)から分割新設し、年に170万トン扱LPガス輸入・販売会社です。



●三井物産マーケティング(株)
代表取締役社長 佐藤 武

豊かなライフスタイルの実現を目指し、デザイン家電や雑貨、家具インテリアを提案してまいります。



●三井リース事業(株)
代表取締役社長 森 修

商社系会社としての専門的知識と経験を生かし、お客さまのニーズに応じてまいります。